

日本WHO協会第1回禁煙セミナー御礼

12月2日に大阪歴史博物館内研修室で「日本WHO協会第1回禁煙セミナー」をファイザー株式会社様との共催により開催いたしました。大阪府立成人病センター・がん支援センター所長の大島明氏より、世界的なたばこ規制の流れの中で対策が遅れている我が国の現状とその中でいかに禁煙を進めていくべきかについてのお話を頂いた後、職場での禁煙運動の取り組みについて、シャープ株式会社産業医の藤原裕和氏、シャープ健康保険組合事務長の玉井洋三氏にそのご経験をお話し頂きました。満席の場内からも活発な質疑、発言が相次ぎ、現場に則し禁煙の輪を広げていくうえで有意義な取り組みとすることができました。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

当日の内容をビデオで収録致しております。ご希望の方は事務局までご連絡ください。また、機関誌「目で見えるWHO」春号で講演の内容を報告の予定です。

平成22年12月10日
社団法人日本WHO協会

【当日の様子】



会場となった大阪歴史博物館4階第一研修室は、多くの方にお越しいただき満員となりました。

基調講演

「我が国のたばこ規制の現状と課題」

大島 明 氏

(大阪府立成人病センターがん相談支援センター所長)





事例研究

「社内禁煙の取り組みの事例紹介」

藤原 裕和 氏

(シャープ株式会社 田辺事業所産業医)

事例研究

「シャープ保険健康組合の禁煙取り組み！」

玉井 洋三 氏

(シャープ健康保険組合 事務長)

